

Foreword 卷頭言

生命と医療 - HORIBAの願い -



堀場 厚

Atsushi Horiba

HORIBA グループ CEO

株式会社堀場製作所
代表取締役社長

堀場 厚

何十億年という生命の営みの中から人類が誕生し、文明の発達と共に高度な医療技術と医療の仕組みを作り上げてきた。医療は人類の長寿への願いと科学技術の発達があいまって発展してきたが、現在では、空気と同様に人類の営みになくってはならぬものとなったといつてよい。現に、誕生と臨終の時はほとんどの人が病院のお世話になる。世界の中でも日本の医療は先端をいっており、平均寿命は世界最高水準、また健康達成度では世界一と評価されている。国民はその恩恵に与っているが、一方でさまざまな課題にも直面している。それは、ストレスや生活習慣病の増加に代表される疾病構造の変化、高齢化社会の到来による医療からの介護の分離、医療費の増大、インフォームド・コンセントによる患者への情報公開、更に臓器移植やヒトクローンに代表される生命倫理などである。HORIBAは、これらの医療課題の解決に積極的に関わっていきたいと考えている。

もちろん、企業、個人にとって最も大切なことは自分自身をよく知り、存在意義を再認識することである。例えば、個人であれば自分が持つ価値観や信念あるいは柱は何か、企業であればルーツや文化は何か、メーカーであれば自社のコア技術は何か、それをよく認知し自覚することである。HORIBAの一番の強みは、広範な分野において世界レベルで評価を得ている分析技術を有していることである。私たちの体内でたゆまなく続いている維持機能に不具合が起こった場合に、詳細に血液分析することが診断・治療に役立つ。HORIBAに期待されているのは、まさにこのような分析システムの提供であろう。先端医療の分野で、分析・計測技術は極めて重要な役割を果たすものと認識している。広い裾野を持つ地域医療に対しても、分析技術は大いに貢献できるであろう。

現在HORIBAは、世界22カ国に38のグループ会社と約3,900人の従業員を有するグローバル企業に成長したが、その背景にはHORIBAの企業文化である“常にチャレンジする姿勢”と“Open & fairの精神”があり、また、京都の文化とものづくり技術に培われた創造力と高付加価値の伝統が根付いていた。文化や伝統に対して誇りを持ち、自分自身に誇りを持つことで、国の異なる相手に対しても敬意を払う精神を醸成し、人と人との真のつながりを作っている。HORIBAは全グループ連携のもと“HORIBA Group is One Company.”を掲げ、グローバルレベルで統一したブランドで今後更に優れた製品とサービスを医療分野に提供していきたい。

生命にとって大切なものは“環境”、“健康”、“安全”であり、これらは今の時代のキーワードでもある。HORIBAの分析技術はそれらにかかわるあらゆる分析に幅広く応用されることを目指している。なかでも、医療現場に直結した分析技術の応用に独自の創造力を発揮することによって、世界の医療のレベル、ひいては人間の生命活動そのものの質を向上させて、人類の幸せのために貢献していくことがHORIBAの願いである。